

VIVIDの活動に協力して	1
VIVID活動レポート	2、3
VIVID事業カレンダー	3
ひとこと通信	3
お知らせ	4

なんでも相談 毎週木曜日 午後1時から3時
専用電話 03-6380-2015

特定非営利活動法人 VIVID (ヴィヴィ)
〒160-0021 新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル601
TEL&FAX 03-5849-4831
Eメール hbd-vivid@coast.ocn.ne.jp
HP <http://www.vivid.or.jp>

“VIVID”は高次脳機能障害者の社会参加を支援する特定非営利活動法人です。

VIVIDの活動に協力して

新宿けやき園 施設長 杉原 素子

新宿けやき園は、獅子舞をボランティアにお願いし、けやき広場で新しい年を利用者やご家族とともに祝いました。

当園は、NPO法人VIVIDのミニデイサービスやセミナーの場所として、毎月第2・第4土曜日にけやき広場を提供しています。VIVIDは新宿区と「高次脳機能障害支援協働事業」としての事業委託契約を行っており、新宿区に在る当園は積極的にVIVIDの活動に協力しています。若年層を中心とする高次脳機能障害に対する支援事業は、障害を受けた生活スキルの再習



得に向け、さまざまなプログラムを開発し、それらを実施しながら、全国的に取り組まれています。

実は、当園障害者入所支援を利用されている方が、土曜日に行われるVIVIDのミニデイサービスやセミナーに通うようになって1年以上が経ちました。プログラムを通して自分の役割を担い、その役割を仲間から期待され、今では彼女の生活を支える大切なプログラムの一つとなりつつあります。同じような問題を有する同世代の仲間たちの力は強いし、小さな集団ではあっても社会生活の場に参加するという参加者たちの意識の在り様がとても考えさせられます。

新宿けやき園は、今年もVIVIDの活動を全面的に支え、参加者たちの実際の社会への旅立ちを楽しみに、時折ミニデイサービスを覗き見させてもらいます。

「新宿けやき園」とは

新宿けやき園は、「特別養護老人ホーム」と「障害者入所支援施設」の複合施設です。2008年6月に、新宿区百人町4-5-1に開設し、社会福祉法人邦友会が運営しています。

3階から6階が、特別養護老人ホームで、全室個室です。ショートステイ、認知対応型のデイサービスも実施しています。2階は障害者入所施設として、日中生活介護、短期入所も行っています。1階は、「けやき広場」として、けやき園全体の行事や地域のボランティアの方々の集まりなどに利用されています。

2009年、VIVIDが新宿区と協働事業で「高次脳機能障害

者支援事業」を始めるに当たり、ミニデイ事業を実施する場所を検討する中で、区から提案があったのが「新宿けやき園」でした。

1階のけやき広場を中心に、2階の相談室、また時には3階のデイサービスの部屋ではおやつ作りなどのプログラムを実施してきました。

2010年度も引き続き区との協働事業として、2011年度は委託事業としてミニデイ事業は新宿けやき園を使用しています。施設が充実しており、使用勝手の良さだけでなく、公園や住宅地の散策コースなどバラエティに富み利用者にも大変好評です。

(文責・VIVID事務局)

セミナー 回復の基本は心身の良い循環から



2011年11月19日(土)、今年度第2回のセミナーを新宿区戸塚地域センターで開催しました。

これまでVIVIDでは、様々なセミナーを開催してきましたが、今回はリハビリの到達点として就労が大きな課題であることを考え、就労に取り組んでいる当事者の方の事例を取り上げ、講演と対談の二部構成で実施しました。

講演のテーマは「心と体を支えるリハビリテーション」、講師は国立成育医療研究センターリハビリテーション科医長 橋本圭司氏。内容は、身体疲労と神経疲労は関連していることが多く、基礎体力がつくと精神的にも疲れにくくなる、低次脳機能から順番に整えることが大事でそのことによって、心身の循環が良くなり体力、精神力が安定するとのことなどでした。

対談は「高次脳機能障害とともに働くこと」のテーマで、橋本圭司氏と当事者でもあり、現在は支援者として介護福祉施設で介護員として働いている石黒順子さんが行いま

した。石黒さんは、10年前に交通事故で受傷し、当時の主治医が橋本圭司先生であったことから、今回の対談が実現しました。就労までの困難な課題などを話され、80名近い参加者があり、会場からの質問や、やりとりなどがありました。

アンケートにも多くの方が回答してくださり、一部を紹介します。また、VIVID ホームページに掲載してあります。なお、セミナー終了後、石黒順子さんより、下段のような感想分が寄せられました。

〈アンケートより抜粋〉

- ・わかりやすい内容であったこと以上に、先生のお人柄の温かさがにじみでお話にあっという間の1時間でした。
- ・低次脳が実は大事でそこをしっかり見直すことで、より良い高次脳のリハビリにつながるということを教えていただき新たな発見でした。
- ・事故から10年経て、自らを語っておられましたが、あまりにもしっかりしているのでびっくり!! 生の声はやはり違いますね。こんな対談をまた是非機会があればやってください。あんな風になんか変わっていきなると当事者の目標になると思います。

《対談を終えて…高次脳機能障害とともに働くこと》

石黒 順子

私は平成13年7月後ろから来た車にはねられ、家2軒半飛ばされ、脳外傷により高次脳機能障害を負いました。

リハビリに専念したく、神奈川リハビリセンターに入院した時、主治医になって下さった方がこの度対談に声を掛けて下さった橋本圭司先生でした。

退院後もたまたまメールで悩み相談をしていたのですが、2011年9月に橋本先生から『お願い』と題されたメールが届きました。橋本先生からのお願いは、VIVIDの講演会での対談依頼でした。

正直言うと、私は大勢の人の前で話す経験が無かったので「私に出来るのだろうか?」という不安の方が大きく、すぐ返事は出来ませんでした。…が、私自身交通事故に会い、あまり聞いた事のない名前の障害の診断を受け、世間に理解度がまだ薄いこの障害を背負い就活を目指した時の不安が大きかった事を思い出しました。

【私の経験が、高次脳機能障害と診断され、就活を目指し今リハビリを頑張っている方の希望になるのなら…】と思い、不安はありましたが、対談を承諾しました。そして、直ぐに「どのような質問をされるのですか?」と、前もって質問をしました。その場で間に詰まってしまう、答えられなくなる可能性が高い、と感じたからです。

自分の診断された病気を自分なりに理解した上での行動をさせていただきました。突然の事があると頭がパニック

になる可能性が予想出来たからです。先生からの間は沢山ではなかったけれど、全て用意し、その場で見やすいようプリントして対談に望みました。

『対談』というのは私は生まれて初めての経験でしたが、対談相手が信頼している橋本圭司先生という事で緊張の糸を上手にほどいて下さり、大勢の前で対談をしている…というより、『診察をしている雰囲気』で対談をさせていただきました。

私の経験を聞きに来られた方の背中を押すことが出来たのなら、私が高次脳機能障害を背負いながらも社会復帰した意味があるのだ…、と思えました。

皆様の前で自分の経験を話す事が出来たのは、橋本先生はじめVIVIDスタッフの皆様に感謝しております。貴重な経験をさせて下さりまして、ありがとうございました。また、拙い私の経験話を聞きにいらして下さった皆様にも感謝すると共に、一緒に頑張っていきたいと思います!とエールを送ります。



VIVID 活動レポート

ミニデイ 新年会楽しみました

年が明けて最初のミニデイは、通常とは少し趣向を変え「新年会」として、1月14日午後1時から新宿けやき園で行いました。寒さにも関わらず当日は18名参加、新春のひとつときを過ごしました。

プログラムのメインはゲーム大会です。「あっち向いてホイ！」でじゃんけんをしながら体を温めた後、紅白のグループに分かれ「初笑い☆新春句会」を行いました。これは、各自が考えた句をばらし、新たな句として発表するもので、

愉快的、思いもよらない作品が出来上がり、3人の審査員のコメントとともにその出来栄を楽しみました。

今回、初登場のボランティアによる手品のショーで盛り上がり、休憩になりました。

おやつは、みかん、あらねなどの他協力者による手づくりで米麴で作った甘酒をいただき、今年も元気で楽しい年になるよう話し合い、解散しました。



VIVID 事業カレンダー

活動実績

※専門相談員によるなんでも相談（電話）毎週木曜日

- 8月**
 - 1日 VIVIDLETTER7号発行
 - 13・27日 ミニデイサービス
 - 17日 新宿区相談窓口連絡会
 - 29日 ケアカンファレンス
- 9月**
 - 10・24日 ミニデイサービス
 - 14日 新宿区来年度予算要求説明
 - 17日 港区高次脳機能障害理解促進事業（TKK）
 - 25日 多摩川乗馬会見学
 - 29日 新宿区ケアマネジメント研修
- 10月**
 - 5日 利用者就労支援会議
 - 8・22日 ミニデイサービス・新宿区障害者生活調査ヒヤリング
 - 19日 新宿区障害者福祉センター懇談会
 - 19日 新宿区相談窓口連絡会
- 11月**
 - 2日 VIVIDクラブ オープニング
 - 8日 港区高次脳機能障害理解促進事業（TKK）
 - 12・26日 ミニデイサービス
 - 16日 VIVIDクラブ
 - 19日 高次脳機能障害者支援セミナー
講師：橋本圭司先生 対談：石黒順子氏

- 28日 東京都心身障害者センター高次脳障害研修
- 29日 新宿区ケアマネジメント研修
- 30日 高次脳機能障害連絡会（新宿社協）

- 12月**
 - 7・21日 VIVIDクラブ
 - 7日 利用者カンファレンス
 - 8日 新宿区ケアマネジメント研修
 - 11・25日 ミニデイサービス
 - 14日 利用者就労カンファレンス
 - 15日 新宿区相談窓口連絡会
 - 17日 新宿医療・保健・福祉連絡会
講師：VIVID
- 1月**
 - 14・28日 ミニデイサービス
 - 18日 VIVIDクラブ

今後の主な予定

- 1月～**
 - 1月31日 VIVIDLETTER発行
- 7月**
 - 高次脳機能障害 なんでも相談
電話相談（月～金 10～17時）
面接相談
（毎週木曜日・第2・4土曜日 13～15時）
ミニデイサービス 第2・第4土曜日
2月1・15日、3月7・21日はVIVIDクラブ

ひとこと通信

ミニデイ利用者の投稿

明けましておめでとうございます。

早いもので娘の美希がVIVIDさんに参加してから二度目の正月を迎えることができました。当初は皆様と一緒にうまくやっていたのか心配しましたが、思いのほか簡単に溶け込むことができました。今ではVIVIDのある日を楽しみにして、メンバーの皆様と過ごせることを喜んでます。娘にはこの1年に色々な事がありましたが、障害の程度も少しずつではありますが良くなっているように思えます。

娘は昨年から今後の目標は海外旅行と事あるごとに叫んでいます。何とか近日中に叶えてやりたいと思い、予行演習をかねて2月中旬に行われる私の実家（福岡）で

の母の17回忌に、家族3人で久しぶりに帰る3泊程のミニ旅行を計画しております。羽田まで電車を乗り継いでどのくらい時間がかかるのか少し心配ですが…

今年も楽しく参加させていただきますので、よろしくお祈りします。
（新宿区 高田健三）

2011年7月23日 ミニデイに参加して（VIVID回覧日記より）
今日の散歩はとても気持ち良く、とても感動しました。

ワンちゃんと散歩—この子はわたしにとってはかけがえのない存在、たびちゃんです。一緒に散歩して感動、家族ができたようです。今度会うことがあったら「こんにちは！」と叫びたいです。
（新宿区 小川貞子）

VIVID 副代表理事・相談担当 牛越千鶴

昨年 12 月 8 日、新宿区主催の研修に相談担当メンバー 4 人が参加しました。

研修のテーマは、「相談支援事業と地域自立支援協議会」講師は、埼玉県障害者相談支援専門協会代表の菊本圭一氏です。

相談支援事業とは、ひと言で言えば、「自立に向けた支援」・「共生社会の実現（地域づくり）」・「権利擁護」であるとのことでした。現状では、相談支援事業は事業者によってばらつきがあり、標準化の必要性があること、ケアマネジメントプロセスの課題などが実例を挙げて説明されました。また、相談支援専門員に求められる活動や役割として、アウトリーチ型の活動、丁寧な個別相談、ケアマネジメント（個別会議とケアプラン）、地域づくりであり、それは当然相談支援専門員が一人で行う業務ではなく、当事者やその家族、環境に働きかけて個別の支援体制を構築する業務と理解する事が重要であると指摘されました。

川越市においては既に 1,500 件のケアプランが 4 つの事業所に委託されているとのことで、4 事業所と基幹センターが中核となって、市内の相談支援システムが構築されている様子がうかがえました。とかく形式的で形骸化した自立支援協議会が多いと言われる中で、自立支援協議会で社会環境を整える（実際に個別事例の検討から新たな社会資源を生み出した実践などの活動）話や、施策化と予算確保のためのエビデンスを現場実践がつくると言う指摘など内容はとても豊富で示唆に富んだものでした。

私たちが制度改正の動向を注視しながら、NPO 法人らしい活動や相談支援のあり方を模索していきたいと思えます。

VIVID からのお願い

VIVID では、私たちの活動趣旨に賛同し、会員、賛助会員、寄付者になっていただける方を募集しています。また、VIVID の活動につきましては、当広報紙のほか、ホームページもぜひご覧ください。アドレスは次の通りです。

<http://www.vivid.or.jp>

会員	61 名	（2011 年 12 月末現在の 会員の状況）
賛助会員	27 名	
寄付（8～12 月）	1 名 5,000 円	

年会費

会員	個人	5,000 円	団体	10,000 円
賛助会員	個人	5,000 円	団体	10,000 円
寄付	金額に規定はありません			

当広報紙をお読みになった感想、活動にたいするご要望、ご質問等お寄せください。

TEL・FAX 03-5849-4831

VIVID クラブ オープン

これまで VIVID では、「高次脳機能障害者の居場所を増やす」「個々の利用者の求めているプログラムを充実する」などの課題を検討してきましたが、具体策として昨年秋、新たに「VIVID クラブ」を実施することにしました。この事業は、高田馬場にお住いの方から VIVID に使用して欲しいと自宅開放のお申し出があり実現しました。

昨年 11 月 2 日にオープンし、パソコン、水彩画、書道、ペーパークラフトなどのメニューを計画し、学校のクラブ活動をイメージし「VIVID クラブ」と名称を決めました。

開催日、時間等は次の通りです。

毎月第 1・3 水曜日、午後 1 時から 3 時まで。

各自好きなことを何でも。お茶を飲みながらおしゃべりも可。ただし、楽器等音の出るものは不可。

利用を希望される方は VIVID 事務局へお問い合わせ下さい。

家族会発足 ——

「新宿高次脳機能障害者友の会 (アンサンブル)」

昨年 11 月、VIVID ミニデイ利用者の家族の方が中心となり、新宿区内で高次脳機能障害者と家族が交流することができる会、家族会が立ち上がりました。高次脳機能障害支援を行っている、新宿区立障害者福祉センターの利用者の方にも呼び掛け、準備し「新宿高次脳機能障害者友の会（アンサンブル）」と名付けました。

話し合いにより、会長は高田健三さん、副会長は植松裕子さん、事務局兼会計は太田三枝子さんになりました。今後は、日頃の不安や困っている事など話し合い、どのような活動をしていくかを検討します。

家族会では、当事者、家族以外の方でも、新宿区在住・在勤の方で高次脳機能障害に関心をお持ちの方の入会を待っています。

連絡先は次の通りです。

太田三枝子さん

TEL/FAX：03-3200-8970 留守の場合はご伝言
携帯電話：090-8036-8606 お願いします。

編集後記

先日、真黒い野良猫に出会い、じっと見つめられた。まるで心の中を見透かされているようで、たじたじ。相手が人だったらどうするか。目をそらさずじっくり見返すことが大事かなーんて、山茶花の径で。(あ)